

漁海況月報

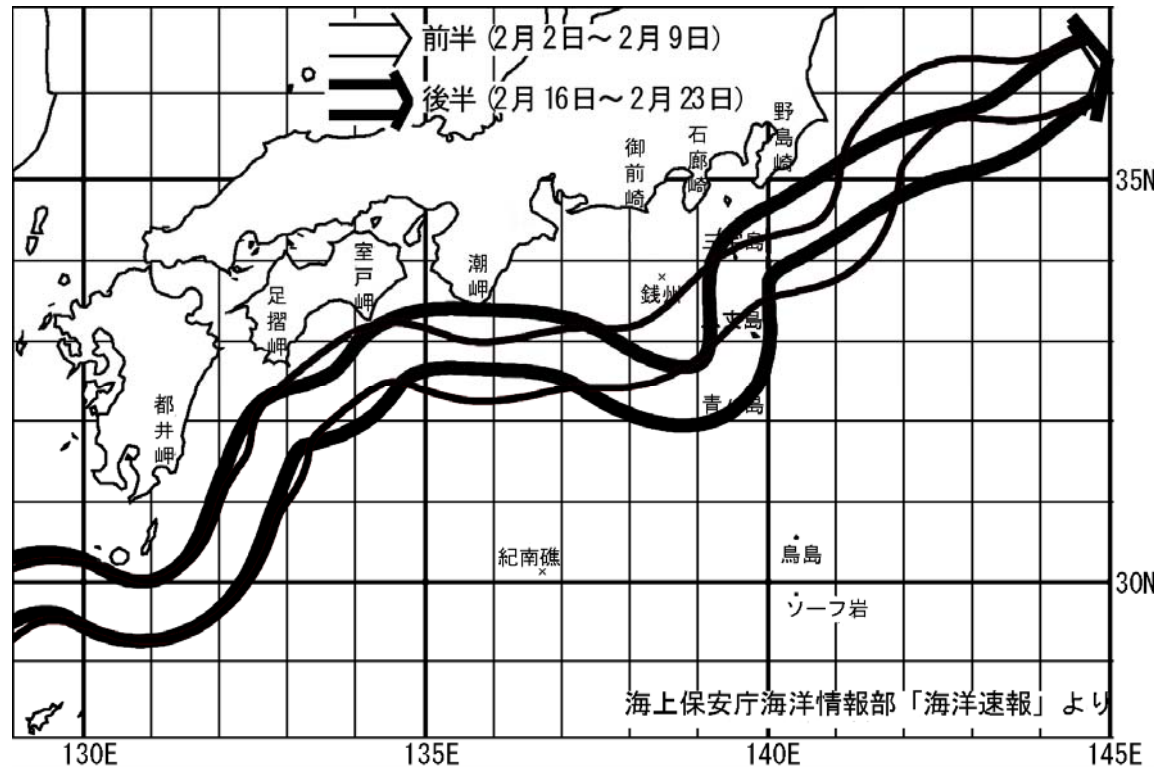
平成24年 2月 1日

No. 2

～2月28日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)

静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	13.4	14.9	14.7	14.7	14.3	16.0	12.2
	-0.6	0.5	0.9	0.3	0.2	2.4	0.7
中旬	13.7	14.8	14.5	15.2	15.0	15.1	11.6
	-0.3	0.7	0.8	1.0	1.0	1.7	0.0
下旬	13.3	15.1	14.3	14.3	14.8	14.7	11.9
	-0.4	1.0	0.7	0.0	1.1	1.4	0.2
月	13.5	14.9	14.5	14.8	14.7	15.3	11.9
	-0.4	0.7	0.8	0.4	0.8	1.9	0.3

【黒潮流路】

前半の黒潮は、足摺岬～室戸岬で接岸、潮岬で離岸した後、熊野灘と遠州灘沖の33°N付近を東進し、三宅島と八丈島の間を通過して房総半島沖へ流去した。後半の黒潮は、前半よりも足摺岬で離岸、潮岬で離岸して石廊崎沖で33°以南に蛇行した後、八丈島から三宅島付近を北上して房総半島沖へ流去した。上～中旬に駿河湾内に暖水波及が見られた。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では13～15、駿河湾の東部では14～15、西部では11～16で推移した。暖水波及により中～下旬の水温は、おおむね昨年並みから高めとなった。

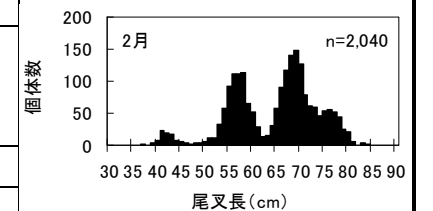
【竿釣カツオ】

県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海竿釣り船によるカツオの水揚量は108トンで前年同期の33%であった。魚価は442円/kgで、前年同期を下回った。沿岸竿釣り船は水揚げがなかった。

近海竿釣り船は、小笠原諸島周辺で特大(尾叉長69cmモード)と大中(尾叉長58cmモード)、特大(尾叉長76cmモード)、極小(尾叉長41cmモード)カツオを漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量(近海、県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	水揚/隻(トン)	平均単価(円/kg)
24年 2月上旬	21	2	10.5	622
中旬	73	6	12.2	370
下旬	14	3	4.7	543
24年 2月計	108	11	9.8	442
23年 2月計	327	21	15.6	448
22年 2月計	151	15	10.1	412



【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は492トンで、前年の同漁場の水揚量(208トン)の2.4倍となった。また、1か統あたりの水揚量は70.3トンで前年(29.9トン)及び昨年(昭和57～平成23年の平均26.4トン)のそれぞれ2.4倍、2.7倍となった。

魚種別の漁獲量をみるとサバ類、スルメイカ、ブリの順が多かった。

サバ類は尾叉長で25～36cmのゴマサバを主体に尾叉長で32～39cmのマサバが混じる状態で漁獲され、ゴマサバでは2月14～20日にかけて本月の漁獲量の半分以上が川奈、富戸漁場を中心に集中的に漁獲された。また、スルメイカは外套長で23～32cmの大きさのものが伊豆山から谷津漁場にかけて広域に漁獲されたが、ブリでは尾叉長で76～78cmの大きさのものが古網と谷津漁場で局所的に漁獲された。

漁場別の漁獲量では、富戸漁場が144トン(サバ類、スルメイカ、マアジなど)、川奈漁場が124トン(サバ類、スルメイカ、ワラサなど)、古網漁場が88トン(サバ類、カタクチイワシ、ブリなど)の順が多かった。

魚種	漁獲量 (トン)	前年比	平年比	主な漁場
サバ類	319.1	3.8	36.9	富戸、川奈、古網
スルメイカ	93.8	4.7	5.9	北川、伊豆山、富戸
ブリ	30.8	3.7	2.4	谷津、古網、伊豆山
カタクチイワシ	29.6	1.1	0.5	古網、伊豆山、北川
マアジ	4.2	0.2	0.2	赤沢、川奈、北川

【サバたもすくい棒受網】

小川港には、たもすくい・棒受網によってマサバ599トン（前年同月比144%）、ゴマサバ271トン（前年同月比68%）が水揚げされた。1隻あたり水揚量はマサバ15.8トン/隻（前年同比152%）、ゴマサバ7.1トン/隻（前年同月比71%）であった。平均単価はマサバが138円/kgで前年同月（216円）を下回り、ゴマサバも46円/kgで前月（52円）、前年同月（54円）を下回った。

たもすくいの漁場は、前月末のマサバ初漁以来ひょうたん瀬に形成され、マサバ主体に活況を呈したため、上中旬は本県棒受網船もたもすくいに転換した。棒受網の漁場は、下旬にゴマサバ主体で三本、三宅に形成された。

マサバは尾叉長34cmモードの3歳魚（2009年級群）主体、ゴマサバも32cmモードの3歳魚（2009年級群）主体であった。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
24年2月上旬	85	54	2	9	9.4	6.0	246	51	ひょうたん瀬
中旬	465	11	8	22	21.1	0.5	124	47	ひょうたん瀬
下旬	49	206	3	7	7.0	29.4	84	45	ひょうたん瀬 三本 三宅
24年2月計	599	271	13	38	15.8	7.1	138	46	—
23年2月	416	400	14	40	10.4	10.0	216	54	ひょうたん瀬 三本
22年2月	64	830	14	42	1.5	19.8	249	61	ひょうたん瀬 三本

* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

【まき網】

小川港ではマイワシが95.7トンの水揚げで平年同期（248.5トン）の39%であった。沼津港では、マイワシが205.9トンの水揚げで平年同期（303.2トン）の68%であった。静浦港では、マイワシの水揚げはなかった（平年同期も水揚げなし）。カタクチイワシの水揚げもなかった（平年同期も水揚げなし）。伊東港ではマイワシの水揚げはなかった（平年同期46.1トン）。

注)平年同期：過去5か年(2007～2011年)平均

【調査船の動向】

駿河丸

2月 12日	～	2月 14日	地先定線観測調査・タチウオ調査	(3日間)
2月 21日	～	2月 22日	サクラエビ IKMT 調査・サバ調査	(2日間)
2月 27日	～	2月 28日	シラス調査(カイト式、TBC、ニューストーン)	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

